

ご意見シートの委員回答取りまとめ結果及び内容に対する担当部からの回答・意見

1 総合戦略における修正指標についての承認可否

「結婚活動支援事業費」の削除

| 人数 | 可否 | 理由 ※承認しない場合のみ | 各部からの回答・意見 |
|----|-----|---------------|------------|
| 11 | 可 | - | - |
| 2 | 未回答 | - | - |

「教職員指導対策費」の変更

| 人数 | 可否 | 理由 ※承認しない場合のみ | 各部からの回答・意見 |
|----|-----|--|--|
| 9 | 可 | - | - |
| 1 | 保留 | KPIを変更することに異論はありませんが、授業公開について、その内容や効果が良く分からないので、承認を保留します。 | ○KPI：学校における教職員の授業公開について 授業公開をおとした授業研究(アドバイス・研修・指導)については、参加した教職員が改善点について話し合い、自分に取り入れられる具体策のフィードバックを行いながら授業改善を図ることを目的とし、これらの成果として児童生徒の国語・算数(数学)の学力向上を図っていくものです。 |
| 1 | 不可 | 全国学力調査に参加しなくても、公開授業しなくても、問題・課題は気づけているはずだと思うから。そこに時間をかけないで違うことに時間をかけたほうがいいのではと思う。 | 児童生徒一人ひとりに確かな学力の定着を図るためには、日々の学習指導、授業の充実改善が不可欠です。 そのためには、授業公開をおして他の教職員とともに学ぶことにより、より良い授業の実現を目指すことが、児童生徒一人一人の、わかる、楽しい学びに繋がるものと考えています。 |
| 2 | 未回答 | - | - |

2 総合計画及び総合戦略の進捗に関するご意見、ご質問

| 委員 | 計画or戦略 | 指標orKPI | 進捗に関するご意見等の内容 | 各部からの回答・意見 |
|----|-------------|--|--|--|
| A | 鹿嶋を誇れる... | KPI 公民館活動 KPIと 文化財保護 KPI について | 地域イベントへの参加のKPI目標値はかなり高いが具体的にどのようなことを行えばここまでの目標を達成できるのか?文化財保護の観点において郷土図書貸出し数のKPIは5年あるにも関わらず貸出しの伸びが低すぎる。ここには何かしらの仕掛けがないといけないですし、KPIからすると目標が低すぎるのではないのか? | ○KPI：地域イベント参加者数について 地域イベントは、各地区公民館の主催事業に参加した子どもたちの総数で設定しています。地域の特性を活かし、子どもから大人までが参加しやすく楽しめる事業の展開や、地域住民へ公民館事業等の情報を発信することで参加者を増やします。 ○KPI：郷土図書貸出KPIの伸びについて 現状から20%の伸びで計上しています。実績は、各学校での授業における郷土資料活用も含まれますが、今後、少子化が継続的に進むこと、また、郷土資料については、ほかの図書と比べ発行数と種類が少ないことも踏まえて設定しています。 今後の仕掛けとして、図書館を通じた歴史教室等を考えており、取組も新規のものでありますので、現実的な数字として設定いたしました。 |
| | 多様な暮らし支援... | 具体的な事業と指標KPI | 地域情報発信事業においてもKPIは5年で4万から6万のフォロワーは数字的に低いのではないのか?フォロワーを増やすための具体的な施策が必要だと思う。魅力的な施策やフックとなる施策、何をもって増やすと記載されているのかより具体的にしておくこと、時代背景により大きく手法も変わるところと承知しますので、現在と将来を分けて考え得る必要もある。 | 現在、市が運用しているSNS等は、市民向け、市外向けに分けています。 市民向けの「LINE」、「かなめーる」は人口減少が予想される中、横ばいの状態が続くと予想しています。 一方、市外向けの「Instagram」、そして拡散力の強さから市民向け、市外向けの両用としている「Twitter」については、フォロワー数を増加させることができると考えております。 ご質問のKPIの数値設定については、市民向け、市外向けの双方の実績を考慮し、あくまでも下限値として設定いたしましたので、さらに高い値を目指して取り組んでいきます。 まず、令和3年に開設した情報統合型アプリ「かしまナビ」この浸透力を入れていきます。同内容が一斉配信される「かなめーる」や「LINE」は利用者によっては、不必要な情報まで届くと不満を感じ、これがブロックや利用解約に繋がっています。「かしまナビ」は、必要な情報を選択することができるため、必要な情報だけが届くシステムになっています。また、配信する側も配信し易くなります。 また、Instagramについては、投稿頻度を高めて露出を増やし、利用者との接触回数を増やすことがフォロワー数増のために必要不可欠です。今後、①#(ハッシュタグ)を使って鹿嶋市の魅力が伝わる投稿を利用者から集め、市公式アカウントでシェアする②担当課以外からも魅力的な写真を集めて投稿する体制作りなどを推進します。 |
| | 産業創出 | 施策指標 主要宿泊施設 の宿泊者 の増加 | 宿泊者数の増加とあるが、10年で8万人増という前に、民間施設の老朽化による宿泊施設の減少を想定が必要。そもそも宿泊者数の2021年4万という数字はどこからの数字であり、今後定量的に計測することはどのような手段を活用して数値化するのか?DMOでも過去の数字などがなく苦労した現実があっただけに。 | 民間宿泊施設については、老朽化等による施設の減少も想定されますが、今後施設の新設や増設を進めている宿泊施設もあるため、キャパ数の減少は今のところ見込んでいません。 2021年の宿泊者数は、市内の主要宿泊施設からの宿泊者数を開取したものです。 今後も同様の手法を考えています。 |
| | 産業創出 | 具体的な事業と指標 広域観光対策KPI | スポーツ合宿の宿泊者数も2500人から→5年で年間8000人を目指しているが、DMOとの具体的な協議や支援についてどのように進めていくのか気になる。単に誘致数を増やすとはいえず、施設の老朽化により施設減少他、魅力づくりをどうしていくのか?どんな魅力で増やしていくのか等..... | 今後の宿泊者数については、アフターコロナを見据えインバウンド等の需要を見込むとともに、国内からのスポーツ合宿の需要の増加を見込んでいます。 誘客に向けては、アントラズDMO等による各種スポーツ大会の開催や国際大会の誘致を支援するとともに、地域の魅力向上を図るため東国水郷観光推進協議会等とさらに連携を図り、広域観光・体験型観光等のメニュー開発・PRに努めながら、交流人口の増加に繋がっていきます。 |
| 全般 | 施策指標の 数値 | 施策指標の数値全般に言えますが、具体的な事業も具体ではないと、設定数値に近づけることはできない。具体事業の詳細を突き詰めていきKPI目標がある。確認としてはこの数値に近づけるための事業はこれから策定なのか?それとも計画に沿ってふわっと所轄が進めていくのか?この町に合うやり方事業を実施と検証の繰り返しの速度をあげる検討も必要でリスクも含めた検討が必要かと。「そんなことはわかってるよ!」という心境かもしれないですが、我々外部にその細部はわかりません。その辺も確認がしたいと思いました。町を真剣によくするために熱意がないといけない、役所内において人事異動があっても熱意も継承し続けたいと総合計画は成り立たない。 | 総合計画の体系として、まず、基本目標を達成しているかどうかを判断するための指標として、施策指標を設定いたしました。次に、施策指標を達成するため、総合戦略において、モニタリングすべき事業を設定し、その達成度合いを測るための事業指標を設定したところ。総合戦略は重点事業のみを位置づけた計画ですので、総合計画の基本目標を達成するためには、十分ではありません。国・県や各部署で所管する計画に基づく事業も考慮しなければなりません。第四次総合計画の策定時もそうですが、今後の進捗管理においても、各種計画との調整が必要となってきます。 なお、総合計画の進捗管理にあたって、インプットとアウトプット(実績)、そしてアウटकム(成果)の関係を「見える化」する「ロジックモデル」を導入することといたしました。 今後、「ロジックモデル」を取り入れた総合戦略事業の実績や成果を総合計画審議会にて報告することを予定しています。 | |

| | | | | |
|---|--------|---------------------|---|---|
| B | 共に学び成長 | 鹿嶋文化 | 11月に開催した歴史講演会はとても興味深いものだった。参加者は400人ほどいたそうだが、ネット配信などが出来れば全国の人が気軽に鹿嶋市の歴史や文化を知ることができると思う。告知にも力を注ぐべきだと思う。 | <p>先般、開催された歴史講演会は、(公財)鹿嶋市文化スポーツ振興事業団が主催し、会場には2日間で延べ400名が参加されました。ネット配信については、オンラインでの同時中継による参加も可能にし、遠方では東北地方や関西、山陰地方からの視聴があったと伺っています。</p> <p>当日は常時約60名の方が中継を視聴し、2日間で391回の視聴回数となりました。今後もご意見いただいた情報発信を含め、鹿嶋の郷土の歴史や文化への興味と愛着を深めるための手法を検討し、活用していきます。</p> |
| | 環境未来都市 | 下水道事業 | 身近な水環境のことを考えるうえで、市街地における下水道の整備は急務だと思う。同時に、過疎地における合併浄化槽の整備にも力を入れて欲しい。 | <p>市街化区域を中心に下水道計画区域と定め、住宅密集地域を優先的に整備を進めております。既存計画を着実に遂行すると共に下水道への接続PR活動(助成制度のPR)に努め水洗化率の向上を目指します。</p> <p>また、下水道計画区域以外の地域においては、国庫補助、県補助を活用しながら、単独処理浄化槽及びくみ取り槽からの合併処理浄化槽への転換促進等を引き続き推進し、水環境の保全に努めていきます。</p> |
| | 港湾振興事業 | | 洋上風力発電事業推進ビジョンがもうすぐまとまるが、これからの鹿嶋市にとって一番重要な話になってくると思う。国や県を巻き込みながら、しっかりと対応して欲しい。 | <p>「洋上風力発電事業推進ビジョン」については、4回の策定委員会の開催、パブリックコメントの実施を経て令和4年12月12日に策定いたしました。</p> <p>今後は、本ビジョンに掲げた将来像の実現に向け、市民の皆さんに事業への理解を深めてもらうとともに、引き続き国、県、地元企業、関係団体から意見をいただきながら、各施策に取り組んでいきます。</p> |
| C | 総合戦略 | 学校における教職員の授業公開の年間日数 | <p>修正の承認はしました。</p> <p>ただし、授業日数を増やし授業研究(アドバイス・研修・指導)で授業力が向上するのだろうか?もっと具体的な手立てが必要ではないだろうか?</p> <p>例えば</p> <p>①Good modelとなる教員の授業を参観し、多くの職員で共有する。</p> <p>②公開授業を参観した職員で検討会を開き、よい点、改善点について話し合い、参加者が自分に取り入れられる具体策にフィードバックさせる。</p> <p>など、いかがでしょうか。</p> | <p>○KPI：学校における教職員の授業公開について</p> <p>教職員自らの授業公開については、授業公開をとおして他の教職員から指導を受けることで、より良い指導方法へと発展し、この繰り返しで授業改善へ有効であると考えています。</p> <p>授業公開をとおした授業研究は、参加した教職員が改善点について話し合い、自分に取り入れられる具体策のフィードバックを行っています。</p> |
| D | | 子育て支援 | <p>地域子育て支援拠点の利用割合</p> <p>どうして増えないのか、もっと細かい分析・ニーズを深堀していく必要がある。</p> <p>各公民館にも子育て拠点を置く。地域のシニアの方々がやっているサロンとつなげていく。</p> | <p>地域子育て支援センターの利用登録が、9.2%程度となっている理由には、平成29年度から全ての公立幼稚園で3年保育がスタートしたことにより、施設の主な利用年齢層が0～2歳児となったことと、加えて、令和2年度以降は、コロナ禍による利用控えが影響していると考えています。</p> <p>令和5年4月からは、新地域子育て支援センターがオープンとなりますので、施設の機能充実により、未就園児の新規利用登録者の増加を目指すとともに、新施設では、土曜日に加えて、日曜日と祝日も開館する予定で、就園児の利用促進にも努めることで、未就学児の利用登録率の増加につなげていきます。</p> <p>なお、各公民館に子育て支援拠点を置くことのご提案につきましては、開設するための種々要件を踏まえ、基準に合致した利用部屋や人員の確保など課題もあることから、即実施することは難しいものと考えています。</p> <p>併せて、ご提案の各公民館等で実施しているサロン活動との調整についても、今後の検討課題とさせていただきます。</p> |
| | | | <p>地域コーディネーターの配置</p> <p>各地区の社会資源や行政と住民を仲介する役割を作る。ひとり暮らしの高齢者に特化した地域福祉推進員ではなく、地域全体(シニア以外の方)向けの困り事や地域との結びつきを主な役割とする。</p> | <p>行政と住民をつなぐ役割につきましては、行政委員(区長)や各地区公民館に配置された地域活動支援員が地域と連携して担っております。</p> |
| | | | <p>いろいろな戦略、関係人口を増やす</p> <p>SNSフォロワー、アントラーズPR、ワーケーションなども全て含めての専門部署、専門員、集約しているところ、課ごとに分かれていて全体を見れてない、つながれてないという点を改善できるようにした方がいいのではと思う。</p> | <p>幅広い市民ニーズに対応するため、各部に分かれて業務を担当しておりますが、市政全般にかかわる事業は政策企画部(政策秘書課・広報推進課・財政課)が全体調整役として取り組んでいます。</p> <p>移住・定住政策(関係人口や地域ブランディングを含む)については、組織横断的な取組が必要ですので、政策秘書課が中心となっており、全体俯瞰しながら事業を推進していきます。また、時宜に合わせてプロジェクトチームやワーキングチームなども組織し、より効果的な事業実施体制を構築していきます。</p> |
| | | 学校(小・中・高) | <p>この地域の良さを生かして大きな改革をしてみる、取り入れる</p> <p>例えば授業に農業(米作り、畑、さつまいも、にんじんなど)。そこにおのずと地域の方々のつながりもできるし、この地域の特色を知ることになる。大人主導ではなくあくまでも子ども主導で取り入れていく。学校以外の大人に任せていく。漁業でも自ら学ぶきっかけにもなる。文化の伝承にもつながる。大人が～をしなさい子供に学ばせるという考え方をやめる。</p> | <p>ご意見については、今後の授業の参考とさせていただきます。</p> |